

出演者紹介



藤井玲南 (ふじい れな) / ソプラノ

東京芸術大学大学院在学中にドイツのエアフルト歌劇場でオペラデビューする。
ライブツィヒ歌劇場で研修後、ウィーン国立音楽大学リート・オラトリオ科を卒業。
国内外のコンクールで多数受賞。帰国後はPMF、小澤征爾音楽塾、東京・春・音楽祭などに出演し、佐渡裕指揮のもとホセ・カレーラスと共演。
オペラはセイジ・オザワ松本フェスティバルにて《ジャンニ・スキッキ》ラウレッタ、《フィガロの結婚》スザンナ、東京芸術劇場にて井上道義指揮《ドン・ジョヴァンニ》ツェルリーナ等を演じる。
大萩康司(ギター)や北村朋幹(ピアノ)との共演、東京オペラシティ「B→C」出演など、リサイタル活動も積極的に行っている。国立音楽大学講師。

©Toshiyuki Tanaka



澤原行正 (さわはら たかまさ) / テノール

広島県呉市出身。愛媛大学教育学部卒業。東京藝術大学音楽部声楽科及び同大学院音楽研究科修士課程修了。
桐朋学園大学大学院音楽研究科博士後期課程修了。博士号(音楽)取得。
「カルメン」ドン・ホセでオペラデビュー。その後「ラ・ボエーム」、「コジ・ファン・トゥッテ」、「ドン・パスクワレ」、「ランモルメールのルチア」、「愛の妙薬」、「椿姫」、「蝶々夫人」、「トスカ」など様々なオペラに出演。コンサートにおいてもバッハ「マニフィカト」、モーツァルト「レクイエム」、ヘンデル「メサイア」、ベートーヴェン「第九」、オルフ「カルミナ・ブラーナ」などにソリストとして出演。2023年小澤征爾塾「ラ・ボエーム」カヴァーキャストを務め、同年セイジ・オザワ松本フェスティバルへ出演。2024年は同フェスティバル「ジャンニ・スキッキ」リヌッチョ役で出演。また、コンサート企画やライナーノートの執筆など活動は多岐にわたる。
二期会会員。日本声楽アカデミー会員。くれ観光大使。



神田将 (かんだ ゆき) / エレクトーン

1台のエレクトーンでフルオーケストラを思わせる豊かな音と奏で、電子楽器の常識を覆したエレクトーン奏者。特にクラシック作品の演奏を得意とし、独自の技術と高い音楽性が絶賛されている。
仙台クラシックフェスティバル、霧島国際音楽祭に、唯一のエレクトーン奏者として出演する他、海外音楽祭への参加も多く、日本生まれの楽器であるエレクトーンを演奏する日本人音楽家として各国で人気を博している。
国内では、ソロコンサートを中心にしながら、数々の音楽家との共演や、舞踊や邦楽などジャンルを超えたコラボレーションでも好評を博す。また、第九やオペラでのエレクトーン1台によるフルオーケストラ担当、全国の学校への訪問コンサートも積極的に行い、エレクトーンの可能性を広げる努力を重ねている。
2024年に演奏家活動30周年を迎え、演奏のみならずスマートなトークにも磨きがかかり、今後の活躍が期待される。



田中泰 (たなか やすし) / 音楽ジャーナリスト・プロデューサー

1988年「びあ」入社以来一貫してクラシックジャンルを担当。
2008年「スポーツニク」を設立して独立。
「アプリ版びあ(クラシック新発見)」「銀座百点(銀座と音楽のマリアージュ)」などの連載や、J-WAVE「モーニングクラシック」のナビゲーター、JAL機内クラシックチャンネルの構成などを通じて、一般の人々へのクラシック音楽の普及に尽力。
霞町音楽堂アドバイザー。

千葉市美浜文化ホール

Chiba City Mihama Culture Hall

最寄駅よりのアクセス

- ・JR京葉線 検見川浜駅 北口より徒歩 8分
 - ・JR総武線 新検見川駅 南口よりバス※10分
- ※南口バスロータリー 4番乗り場より乗車。3つ目『美浜区役所』下車 徒歩1分

営業時間: 9:00~22:00(窓口~18:00) / 休館日: 毎月第3月曜日(祝日の場合、翌平日)

施設お申込み、主催事業等の公演 お問い合わせは

美浜文化ホール ☎043-270-5619

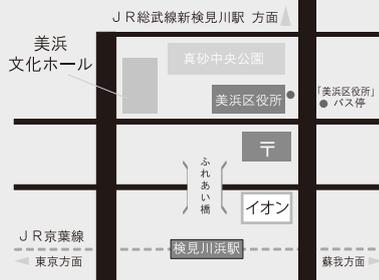
便利なオンラインチケット予約サービスをご利用下さい

WEBでご予約後、最寄りのセブンイレブンでご購入いただけます。

[WEB] www.chiba-aw.jp/mihama

千葉市美浜文化ホールでは、市民の皆様のご利用をお待ちしております

- ◆サークルの練習や教室の発表会に、自治会の集会や社内研修、本格的なコンサートまで幅広く対応いたします。
- メインホール(354席/車いす席3席含) 音楽ホール(152席/車いす席2席含)
- 会議室(45名) リハーサル室(床面13m×13m) 練習スタジオ2室(完全防音)



〒261-0011 千葉市美浜区真砂 5-15-2